



営農タイムリー！



発生予察情報について(6月)

2024年6月6日発行

病害虫発生予報第4号(6月)

野菜

キュウリ ベと病

予報内容 発生量 : **平年比 やや多い** (前年並)

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 曇雨天が続くと、初発生及びまん延期が早くなる。
- (2) 肥切れしたり草勢が衰えると発病が多くなる
ので、肥培管理に注意する。

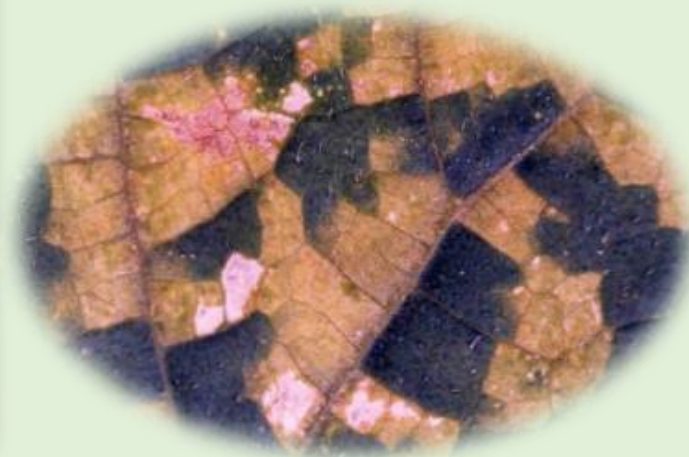
病徴と診断 : 子葉・本葉に発生する。子葉では、初め水浸状の斑点ができ次第に拡大して淡褐色に変り、葉は薄くなり乾燥すると萎凋する。本葉では初め淡黄色の小斑点から、のち葉脈に囲まれた多角形・黄褐色の病斑になる。激発すると葉全体が葉縁から巻き上って枯れる。**多湿条件で葉裏に暗灰色のカビ**が生える。

伝染経路と

発病条件 : 病斑上に形成された分生胞子が風等で飛散し、葉上に水滴などがあると発芽して遊走子を生じ、気孔から侵入する。**湿度が高く肥切れ・樹勢の衰えた時に発生**しやすい。

防除の

- ポイント** :
- ハウス栽培では換気をよくし、**過湿防止**に努める。
 - 肥切れしないように、**施肥管理**に努める。
 - 薬剤防除は**発病初期**に重点をおく。



■ キュウリ ベと病の防除体系例

発病前は

M01(M)
BM02(BM)

グリーンキャップ

〔エコショット+銅〕

〔1000倍 収穫前日まで/ー〕

〔2000倍 斑点細菌病〕

I:UN
M03(M)

ペンコゼゴ
フロアブル

〔500~1000倍 収穫前日まで/3回以内〕
〔炭疽病〕

〔500倍 褐斑病〕

ペンコゼゴ
水和剤

〔600~800倍 収穫前日まで/3回以内〕

〔600倍 褐斑病:黒星病:炭疽病〕

シマン

水和剤

〔600~800倍 収穫前日まで/3回以内〕

〔600倍 つる枯病:疫病:褐斑病:黒星病:炭疽病〕

予防剤をローテーション散布

M05(M)

ダコニール1000

〔1000倍 収穫前日まで/12回以内〕

〔うどんこ病:灰色かび病:褐斑病:
黒星病:炭疽病〕

21(C4)

タイムイ
フロアブル

〔2000~4000倍 収穫前日まで/4回以内〕

ランマン
フロアブル

〔1000~2000倍 収穫前日まで/4回以内〕

発病が認められたら

40(H5)
M05(M)

プロポーズ

〔1000~1500倍 収穫前日まで/3回以内〕

〔マモロット+ダコニール〕

〔1000倍 うどんこ病:褐斑病:黒星病〕

カーニバル

〔1000倍 収穫前日まで/3回以内〕

〔フェスティバル+ダコニール〕

〔うどんこ病:褐斑病:炭疽病〕

11(C3)

アミスター20

フロアブル

〔1500~2000倍 収穫前日まで/4回以内〕(うどんこ病)

〔2000倍 褐斑病:炭疽病、
1500倍 灰色かび病:菌核病〕

24(D3)
M01(M)

カスミンボルドー

〔カスミン+無機銅〕

〔1000倍 収穫前日まで/5回以内〕

〔うどんこ病:斑点細菌病〕

治療剤を加えたローテーション散布

40(H5)
I:UN, M03(M)

カンパネラ

〔マモロット+マンゼブ〕水和剤

〔1000倍 収穫前日まで/3回以内〕

〔褐斑病〕

U17(U)

うい類

ピシロックフロアブル

〔1000倍 収穫前日まで/3回以内〕

27(U)

I:UN, M03(M)

カーゼートPZ水和剤

〔シモキサニル+マンゼブ〕

〔1000~1500倍 収穫前日まで/3回以内〕

※()内はべと病以外の適用病害。使用の際は使用基準を確認してから使用しましょう。

キュウリ 斑点細菌病

予報内容 発生量 : **平年比 やや多い (前年比 やや多い)**

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 降雨等により病原細菌が飛散し、葉及び果実の気孔等から侵入して発病する機会が多い。
- (2) 曇雨天が続くと急速にまん延するので、気象の変化に注意する。
- (3) 発生してからでは防除が困難となるので、**予防防除に努める**。

病徴と診断 : 幼苗期～収穫期まで発病する。子葉では水浸状斑点からのち淡褐色に変わり、同時に葉肉組織は薄くなる。本葉では小葉脈に囲まれた淡褐色の小斑点を形成し、次第に色が抜けて白くなり組織も薄く破れやすくなる。果実では少しへこんだ水浸状斑点が多数でき、白色のヤニを分泌する。

伝染経路と

発病条件 : 種子伝染、土壌汚染を行う。気孔、傷口から侵入して発病する。比較的低温時期の降雨が連続する時および多湿条件下で発生が多くなる。

防除の

- ポイント** :
- 被害植物は早期に取り除き焼却するか土中に埋没する。
 - ハウス栽培の場合は換気をよくし、冬は十分に暖房を行い過湿防止につとめる。
 - 薬剤防除は**発病前に重点をおく**。



■ キュウリ 斑点細菌病 の主要登録薬剤

■ キュウリ 斑点細菌病 の主要登録薬剤			予防 / 治療
24(D3) M01(M)	カスミンゴールド [カスミン+無機銅]	[1000倍 収穫前日まで/5回以内] (うどんこ病:べと病)	○ / ○
M01(M) BM02(BM)	グリーンキャップ [エコショット+銅]	[2000倍 - / -] [1000倍 (べと病:褐斑病)]	○ / ×
M01(M)	コサイド3000	[2000倍 - / -] (褐斑細菌病:黒腐病:軟腐病)	○ / ×
	キノンドー フロアブル	[1200~1500倍 収穫前日まで/5回以内] [1200倍 (べと病:炭疽病)]	○ / ×

5. ネギ さび病

予報内容 発生量 : **平年比 やや多い** (前年並)

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 春季と秋季に比較的低温で降雨が多いと多発する傾向がある。また、前年の秋に多発して、冬が温暖多雨に経過すると、春に多発する。
- (2) 肥切れや窒素肥料のやり過ぎは発生を助長するので、**適正な肥培管理に努める**。
- (3) 被害葉は伝染源となるので、ほ場周辺に放置せず、適切に処分する。

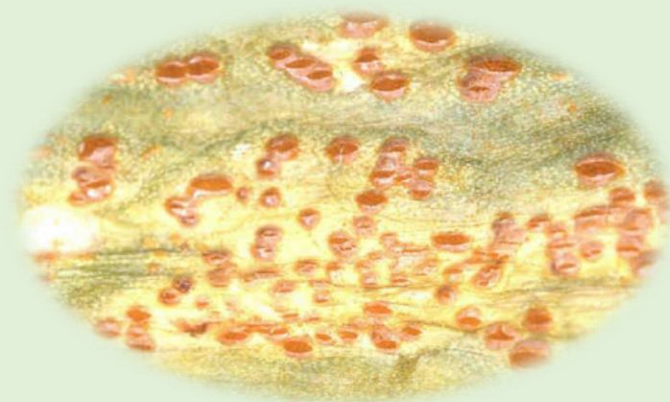
病徴と診断 : 主に葉・花梗に発生する。初め楕円形～紡錘形の少しもり上った斑点を生じ、その後斑点の中央部がたてに割れて、橙黄色・粉状のカビが飛び出す。病勢が進むと、この斑点に接して褐色斑点を生じ、後に紫褐色のカビを形成する。

伝染経路と

発病条件 : 病原菌は被害植物上に夏孢子・冬孢子を形成して越冬し、翌年夏孢子を生じて伝染する。**肥切れしたり、草勢が衰えた時に発生しやすく、比較的低温で多雨の時に多発**する。

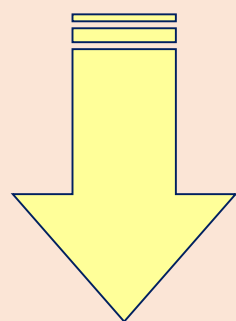
防除の

- ポイント** :
- **肥切れすると発生が多くなるので、肥培管理に注意する。**
 - **薬剤防除は、発病前に重点をおき、薬液は付着しにくいので展着剤を加用する。**



■ さび病 の防除体系 (例)

発病前は



I: UN, M03(M)

ペンコゼゴ 水和剤 [600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病)

ペンコゼゴ フロアブル [500~600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病)

シマン 水和剤 [600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病)

予防剤を **ローテーション散布**

M05(M)

ダコニール1000

[1000倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病: 小菌核腐敗病: 葉枯病)

M07(M)

ベルコート

[2000倍 収穫30日前まで/ 3回以内]
(黒斑病: 葉枯病)

11(C3)
4(A1)

ユニフォーム [リトミル+アミスター]

[9kg/10a 土寄せ時(但し、収穫45日前まで)
/ 株元土壌混和/ 1回] (べと病: 白絹病)

発病が認められたら

40(H5)
M05(M)

カーニバル

水和剤
[フェスティバル+ダコニール]
[1000倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病)

7(C2)

パレード20

フロアブル [2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
(黒腐菌核病: 白絹病)
[2000~4000倍 (黒斑病: 小菌核病: 小菌核腐敗病: 葉枯病)]
[100倍/ セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊
(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)あたり0.5L
/ 育苗期後半~定植当日/ 灌注/ 1回 (黒腐菌核病)]

アフエット フロアブル

[2000倍 収穫前日まで/ 2回以内]
(黒斑病: 小菌核腐敗病: 白絹病: 葉枯病: 小菌核病)
[1000~2000倍/ 1L/平方m / 生育期(但し、収穫14日前まで)
/ 株元灌注/ 2回以内 (黒腐菌核病: 白絹病)]

治療剤を加えた **ローテーション散布**

3(G1)

I: UN, M03(M)

テーク 水和剤

[サンリット+マンゼブ]

[600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病: 葉枯病)

11(C3)

アミスター20

フロアブル [2000倍 収穫3日前まで/ 4回以内]
(べと病: 黄斑病: 黒斑病: 葉枯病: リゾクトニア葉鞘腐敗病)

ストロビー フロアブル

[2000倍 収穫7日前まで/ 3回以内]
(黄斑病: 黒斑病)

ファンタジスタ

顆粒水和剤 [3000倍 収穫7日前まで/ 3回以内]
(黒斑病: 小菌核病: 小菌核腐敗病: 葉枯病)

メジャー フロアブル

[2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
(べと病: 黒斑病: 黒腐菌核病: 小菌核病:
小菌核腐敗病: 白絹病: 葉枯病)

※ ()内はさび病以外の適用病害。使用の際は使用基準を確認してから使用しましょう。